

農政なら

編集・発行
奈良県農業会議(奈良市登大路町・県庁内)
TEL 0742-22-1101(内線5623~9)
FAX 0742-24-8576

トピックス

「人・農地プラン」実質化の推進と農地マネジメント活動の強化に向けて 令和元年度農地中間管理事業推進農地利用最適化研修会を開催



令和元年度農地中間管理事業推進農地利用最適化研修会が、令和2年2月21日に斑鳩町の「いかるがホール」において開催されました。この研修会は、農地マネジメントの推進に向けた農地利用の最適化に取り組む

奈良県並びに奈良県農業会議、なら担い手・農地サポートセンターの3組織で共催し、農業委員や農地利用最適化推進委員、農業委員会職員、各関係団体職員など約420人が参集しました。

今回の研修会では、大和郡山市農業委員会による県内優良事例報告を行って頂きました。同市農業委員会の飯田会長から、農業委員会とサポートセンターとの協働で、耕作放棄地の再生と担い手への集積・集約を推進するため、集落説明会による農地中間管理事業の活用に向けた意識付けや、農家への個別訪問で貸し付け承諾を取り付けたこと。

また、「人・農地プラン」の実質化に向けた取り組みの強化を図るとともに、県下農業委員会と「なら担い手・農地サポートセンター(農地中間管理機構)」との連携を強化し、農地の利用集積と利活用を推進することが重要」とし、綱紀肅正をはかるよう求めました。

最後に、なら担い手・農地サポートセンターにおける事業として、着実に実績を積み上げているとの報告や、制度改正が行われ、よりスマートに貸し借りができるようになつたことや、取り扱いエリアが拡大したことの説明がされたほか、県担い手・農地マネジメント課から、「人・農地プラン」の実質化について、県下市町村から報告のあつた工程表の状況報告を受けました。

「人・農地プラン」の実質化に向けた農業委員会の関与が法律で明確化されることを受け、プラン策定に向けた取り組みの強化を図るとともに、県下農業委員会と「なら担い手・農地サポートセンター(農地中間管理機構)」との連携を強化し、農地の利用集積と利活用を推進することが重要です」とまとめられました。参加者からは「身近な事例が聞けて良かった。我々の

令和2年度事業計画並びに当初予算などを決定 第8回奈良県農業会議理事会を開催

奈良県農業会議（増井勲会長）は2月27日、奈良市「ホテルリガーレ春日野」において、「第8回奈良県農業会議理事会」を開催しました。

開会にあたり、増井会長は「この1年間、順調に事業を進めることができましたことについて、皆様方のご協力に感謝申し上げます。平成28年4月1日の改正農業委員会法施行から5年目をむかえる令和2年度は、5年後見直しが行われる重要な節目の年であり、農業委員会の諸活動の事例を、組織内外にアピールすることが大切です。また、農地中間管理機構法の改正により、農業委員会へは、「人・農地プラン」の実質化に向け新たな役割が明記されました。今後ますます『なり手・農地サポートセンター』等関係機関と連携を密にし、積極的な活動に取り組んで行かねばなりません」とあいさつしました。

理事会は増井会長を議長として進行し、主要会務報告を行ったのちに、議案の審議に入りました。議案には、農業委員会組織に求められる使命と役割を十分に發揮し得る組織力を強化に向けた取り組みに重点を置き、地域農業の活性化に向けて取り組む令和2年度事業計画を提出しました。

事業計画には、組織体制強化のための研修会並びに会議の開催や、県下農業者の経営力向上を図るために、職員の派遣や相談活動の強化などを盛り込みました。重点項目は以下の通りです。

①農地法等法令に基づく所掌事項の適正な処理
②農地の有効利用に向けた農地マネジメントの検討
③農業委員・農地利用最適化推進委員改選後の組織体制強化に向けた支援

第3号議案
令和2年度借入金限度額の設定について
奈良県農業会議常設審議
第4号議案

委員の選任について
また、その他として、新型コロナウイルスへの対応について協議しました。

女性委員の活動推進を目指す 「なら農業委員会女性員の会」が実務研修会を開催

「なら農業委員会女性委員の会」（壇井和子会長）は、1月20日、桜井市の「奈良県農業研究開発センター」において、「令和元年度実務研修会」を開催しました。

奈良県下の女性農業委員並びに農地利用最適化推進委員が、自らの活動推進と委員会活動の活発な取り組みを促すことを目的に実施されました。

当日は、全国農業会議所の東郷恵太考査役から、今後の活動のあり方が注目されている「人・農地プラン」の実質化に関する内容や、全国の女性委員の現状認識と登用促進への取り組み推進について説明を受けました。

参加した委員からは、積極的に様々な質問が行われたほか、より詳細な資料の提供が依頼されました。

来年度においても、その時々で重要なテーマを絞り込み複数回の研修会を実施するよう、事務局を持つ農業会議に要望されました。

「第6回農地マネジメント委員会」を開催

県農業会議は、令和2年2月12日、奈良市の「ホテルリガーレ春日野」において、「第6回農地マネジメント委員会」を開催しました。当時は29人の委員のうち24人に出席頂きました。

開会にあたりこの委員会の委員長を務める杉山孝副会長（県農林部長）は「農地マネジメント全般についてご意見をいただき、今後の取り組みに反映していきたい」とあいさつされました。

県担当手・農地マネジメント課から、「非農地判断マニュアル」の一部改訂に関する説明を受けました。主な改正点は4点で、農業振興地域内農用地・甲種農地・第1種農地に該当する耕作放棄地であっても、状況により非農地判断が可能である旨の但し書きを追記したこと。法務局に対し、あらかじめ写真と地番図の重ね図を提供するなど、円滑な登記手続きのため法務

局と連携を図る文言を追記したこと。非農地判断にあたり、その他留意すべき農地として項目を新設し、該当する農地を例示したこと。

積極的に非農地判断を実施すべき農地の状態としての項目を新設し、写真で例示したことです。委員からは、農振除外や補助金の取り扱いに関し質問が出されました。たが、最終的には字句を再度調整のうえ改訂する旨委員長から提案され了承されました。

その後、特定農業振興ゾーン設定の進捗状況と実質化した人・農地プランの推進について報告を受けました。

農業振除外や補助金の取り扱いに関し質問が出されました。たが、最終的には字句を再度調整のうえ改訂する旨委員長から提案され了承されました。たが、最終的には字句を再度調整のうえ改訂する旨委員長から提案され了承されました。

農業振興ゾーン設定の進捗状況と実質化した人・農地プランの推進について報告を受けました。

農業振興ゾーン設定の進捗状況と実質化した人・農地プランの推進について報告を受けました。

県内でも農業法人等への雇用就農者が増えています。

締役社長のほか山口農園の関係者の皆さんとの協力の下で、野菜の収穫作業体験や販売戦略・生産技術など

の総合的な経営管理能力が

トッピングにある農業経営者の中でも就業体験を行い、

①食料生産の重要性と現状

把握②農業への理解を深め

もらうこと③農業法人へ

の就職を具体的にイメージ

してもらうことをねらいと

して、県農業会議ならびに県農業法人協会が共催し取り組みました。

参加者からは「より就農

したいという気持ちが強く

なりました」「1日の作業

の流れをイメージすること

ができた」などの声が聞かれました。

農業法人への就職のイメージを深めるため (農業インター・ンシップ) in 奈良 開催!

「農業法人1日就業体験 in 奈良」が2月16日、宇陀市の(有)山口農園を会場

に開催され、奈良県内で農業を始めたいなどとする29人が県内外から参加しました。

農業も就職先の選択肢の



”農“へのメッセージ



御所市農業委員会
会長 壺井 和子

願つてやみません。

また、御所市ではJAならけん等の関係機関と協力し、御所市6次産業化・地産地消推進協議会を発足させ農産物のブランド化に取り組んでいます。御所芋（大和芋）は県認定の「大和の伝統野菜」のひとつで市内の櫛羅（くじら）地区で主に栽培されています。栽培が平素は御所市農業委員会の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

農業従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の拡大等、わが国の農業は厳しい環境にさらされています。御所市は特にその傾向が顕著であり、優良農地の維持管理が困難な状況に直面しています。先人たちが守り継いで来たかけがえない農地を次世代に引き継ぐという使命のもと、地域農業者の代表である私たち農業委員会に寄せられる期待と責任の大きさを痛感するところです。

現下の御所市農業委員会の活動としては、宮戸地区の国道309号線沿いの遊休農地に景観作物を栽培し、啓発活動に取り組んでいます。秋にはコスモスが美しく咲き誇り、多くの見物者が訪れる光景を目にいたしました。春にはれんげが一面に咲き揃うよう手入れをしているところです。委員一人ひとりの熱意と尽力が実を結び、遊び農地解消の一助となることを

願つてやみません。

また、御所市ではJAならけん等の関係機関と協力し、御所市6次産業化・地産地消推進協議会を発足させ農産物のブランド化に取り組んでいます。御所芋（大和芋）は県認定の「大和の伝統野菜」のひとつで市内の櫛羅（くじら）地区で主に栽培されています。栽培が困難で商品化に至らず多くが廃棄されてしまいましたが、生産農家から提供を受けて御所芋焼酎の製品開発を実現しました。

御所芋に限らず、わけぎ、宝栄、金剛・葛城両山麓の豊かな気候風土に育まれた農産物は大きな可能性を秘めていると確信しています。若い農業者の就農促進と新たな担い手の育成は喫緊の課題であり、6次産業化の取組等を通じて、令和の新しい時代に希望とやりがいの持てる農業の実現を支援してまいります。

最後になりますが、耕作放棄地対策、農地の利用最適化、人・農地プランの実質化等、山積する課題に成果が求められるなか、御所市農業委員会は農業委員と農地利用最適化推進委員が結束して、地域農業再生の一翼を担うべく、委員会活動に邁進することをお約束いたします。関係各位の更なるご指導、ご鞭撻の程、何とぞよろしくお願い申上げます。

「農の雇用事業」令和2年度の事業について

「農の雇用事業」は、農業法人などが新たに雇用した研修生（雇用就農者育成・独立支援タイプ）や、新たな農業法人の設立のほか、経営継承し法人設立を目指す研修生（新法人設立支援タイプ）に対して、就農に必要な技術や経営ノウハウ等を習得させるため、実践的な研修を実施することなどの活動に対して助成する事業です。

令和2年度から、研修生が障害者、生活困窮者または刑務所出所者等の場合は、年間30万円の加算措置が設けられます。また、働きやすい職場環境整備に既に取り組んでいるか、新たに取り組むことが要件化されるなど制度の見直しが行われました。

今年度の募集は4回実施される予定で、募集スケジュールは、第2回が5月から6月、第3回が7月から8月、第4回は10月から11月ごろを予定しています。（第1回は4月3日が募集締め切り日です）

【問い合わせ・申請先】
奈良県農業会議
〒630-8501
奈良市登大路町30番地 県庁分庁
TEL 0742-2717419

〔県農業会議関係会議日程〕

4月2日
・常設審議委員会

5月1日
・常設審議委員会

5月1日
・常設審議委員会
◆◆◆
4月2日
・常設審議委員会
◆◆◆
4月3日が募集締め切り日です
詳細については、奈良県農業会議までお問い合わせ下さい。

6月2日
・全国農業委員会会長大会

農業会議だより

◎令和版農業委員・推進委員活動マニュアル

このマニュアルは「農地利用の最適化」の推進活動の進め方を整理するとともに、必要な農地制度等の基礎知識を網羅して、農業委員と農地利用最適化推進委員にとって分かりやすく解説したもので

令和元年5月の農地中間管理事業等に関する法律の改正を受けて、「人・農地プラン」実質化に向けた話し合いを進めるための5つのステップ等についても分かりやすく解説しています。……650円

◎令和版農業者年金加入推進携帯パンフレットチラシ

農業者年金の魅力・メリットや政策支援を受ける要件などをやさしく紹介。戸別訪問による加入推進活動などの際に、手元で開きながら説明できるポケットサイズ（タテの長さはB5判・開いた状態でのヨコの長さはA4判）のパンフレットです。

このたび、増刷に伴い、情報を加筆して改訂しました。……110円